

平成29年度 第2回愛知県事業評価監視委員会 事業評価実施事業一覧表

【再評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業目標	事業内容	採択 年度	再評価 該当基準	長期化等 の理由	各評価項目の判定結果			対応 方針案	参考事項：H29年度と前回再評価時との比較 (上段：今回、中段：前回再評価時、下段：事前評価時)					備考
										事業の 必要性	事業の 見込み	事業の 効果		年度	事業期間	事業費 (億円)	進捗率 (%)	B/C	
1	都市整備課	街路事業	都市計画道路 名古屋岐阜線	稲沢市	交通円滑化 交通安全対策の強化 緊急輸送道路機能の強化	現道拡幅L=250m、 W=30m、4車線	H20	長期継続	埋蔵文化財 調査が追加 で必要と なったため	A	B	A	継続	H29	H20～H31	16.3	86	2.5	
														H19	H20～H28	13.7	-	5.9	
2	都市整備課	街路事業	都市計画道路 おおひがし線 大府東浦線	大府市	交通円滑化 交通安全対策の強化	バイパス整備 L=460m(1+2工区)、 W=25.0～28.0m、 4車線	H21	長期継続	事業区間を 延伸したた め。	A	B	A	継続	H29	H21～H31	26.6	64	2.5	
3	森林保全課	林道事業(過疎 山村地域代行林 道事業)	河上瀬柏洞線	豊田市	林道の開設による森林 整備の推進	林道開設 L=9,800m、W=4.0m	H5	計画変更	単年度当 り事業量の 減少による	B	B	A	継続	H29	H5～H38	18.4	76	1.1	
														H25	H5～H29	15.3	92	1.2	

【事業の必要性】  
 A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。  
 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  
 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。

【事業の見込み】  
 A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。  
 B: 多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、  
 解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。  
 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の  
 目処がたたない。

【事業の効果】  
 A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。  
 B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が  
 確保される見通しがある。  
 C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が  
 確保される見通しが立たない。

【事後評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業概要(上段：実績、下段：当初)			評価結果の概要			対応方針(案)の概要			備考	
					事業目標	事業費 (億円)	事業期間	事業内容	事業目標の達 成状況	事業効果の発 現状況	事業実施によ る環境の変化	今後の事 業評価の 必要性	改善措 置の必 要性		同種事 業に反 映すべ き事項
						上段：実績 下段：当初	上段：実績 下段：当初		○：達成 ×：未達成	○：発現 ×：未発現	○：影響無 ×：影響有				
1	農地整備課	農業農村整備事業 (たん水防除事業)	タツタ ワジュウ 立田輪中二期地区	愛西市	流域開発や機能低下により、能 力不足となった、排水機場及び 排水路を整備し、農地・農業用施 設等の湛水被害を防止する。	66.3	H2～H24	排水機場 1箇所 排水路 L=5,268m	○	○	○	なし	なし	あり	事業費及び事 業期間の下段 は前回評価時 のもの
						73.1	H2～H22								
2	農地整備課	農業農村整備事業 (たん水防除事業)	シンマゴタカラ 新孫宝地区	弥富市 愛西市	流域開発や機能低下により、能 力不足となった、排水機場及び 排水路を整備し、農地・農業用施 設等の湛水被害を防止する。	35.7	H12～H24	排水機場 1箇所 排水路 L=1,500m	○	○	○	なし	なし	あり	事業費及び事 業期間の下段 は前回評価時 のもの
						46.0	H12～H22								
3	農地整備課	農業農村整備事業 (たん水防除事業)	ゴミョウチアキ 五明千秋地区	一宮市 江南市	流域開発により、能力不足と なった、排水路を整備し、農地・ 農業用施設等の湛水被害を防止 する。	15.9	H9～H24	排水路 L=3,741m	○	○	○	なし	なし	あり	事業費及び事 業期間の下段 は前回評価時 のもの
						14.2	H9～H22								
4	港湾課	漁港漁場事業 (漁港修築事業)	モロザキ 師崎漁港	知多郡 南知多町	防波堤の改良延伸や物揚場の整 備を行うことにより、航路・泊 地の安全性を確保し、陸揚げ係 留施設の混雑を解消することを 目的とする。	6.7	H14～H24	防波堤：L=211m(改良含む) 物揚場：L=153m 泊地浚渫：A=2,800m <sup>2</sup>	○	○	○	なし	なし	あり	
						8.9	H14～H22								